

羅針盤 第19号

ひと雨ごとに秋らしくなっています！



秋分の日には朝から土砂降りの雨で、同窓会が開催できるか心配でした。昨日も朝から雨が降り、体育祭が順延された学校もあったようです。確かに雨はわずらわしいですが、ずいぶん涼しくなりました。食欲の秋、勉強の秋ですが、やはり3年生ならば、進路実現の秋です。今年、一次就職試験に43名がのぞみましたが、まだ合格者は7名です。就職試験をこれから受ける人は、しっかり面接練習をしておきなさい。残念ながら就職試験がうまくいかなかった人は、次どの企業を受けるのかをあきらめずに探してください。ある企業から選ぶという現実的な選択が迫られています。自分の都合や勝手ばかりを言っても決まりません。とりあえず、「学校紹介でもう一度受けるんだ」という決意を固めて、進路指導室の求人票を見に来て、就職係の先生に相談しなさい。

一次就職試験で合格した企業

事務	岩本鋼業	合格	7名
製造	ジェイテクト・三和化工紙・彩華化学工業	不合格	15名
介護	寿光会	合格率	32%
営業	シクロケア・大和		

就職試験で不合格となった理由

- ①例年以上の応募者があったので、厳しい選考となった。
 昨年の1.5倍の応募があったとか、7倍の倍率になったという企業もあった。
 企業としては、誰かを落とすため、落とす理由を明確にしなくてはならない。
- ②落とされた理由として明確なのが「筆記試験」（一般常識・適性検査）の得点である。
- ③君たち西浦高生は、「筆記試験」で受験者の平均点も取れていないことが多いようだ。
 中には、受験者で最下位とか下から何番目ですと言われた企業もあった。
 3年間の勉強、努力の積み重ねが「筆記試験」に出ると企業は判断している。
- ④「筆記試験」の低さをカバーするだけの面接でのアピールがない。

じゃあ、どうすればいいのか。足りない点を努力して補うしかない。

- ①「筆記試験」対策として一般常識の問題集や渡した冊子をやりなさい。
- ②面接試験に向けて、自分が答える内容をよく考えて、頭に整理しておく。
- ③今までと考え方を变えるため、違う職種の求人票を探したり、職場見学に行ったりする。

専門学校の出願は10月1日（金）から始まります！

9月も残りわずかですが、10月1日（金）から、専門学校の出願の受付が始まります。AOで内定をもらっている人、指定校推薦で受験する人、公募制や一般入試を受ける人も基本的には10月からの受付となります。「調査書」「推薦書」など高校（担任）が発行しなくてはならない書類が必要となるはずですので、事前に準備をしなければ、出願できません。出し遅れることのないように出願準備をなさい。願書の書き方は入試要項に記載されていますが、分からなければ、担任や進路の先生の所に願書を持って行って見てもらいなさい。